

## 論文投稿規程・チェックリスト・著作権

メタデータ	言語: jpn 出版者: 静岡県母性衛生学会 公開日: 2023-03-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00004326">http://hdl.handle.net/10271/00004326</a>

## 論文投稿規程

1. 投稿者の資格：投稿者は、共著者も含め原則として静岡県母性衛生学会会員に限る。
2. 論文の種別：論文の種別は、原著、研究報告、速報、事例報告、依頼稿、特集などで、母性衛生の向上に寄与しうるもので、他誌に発表していないものに限る。
  - a) 原 著：科学論文として論理的で独創的な新知見が示されており、母性衛生としての学術上の価値があると認められた論文。
  - b) 研究報告：原著論文の条件は満たさないが、研究成果をまとめたもので掲載の意義があると認められた論文。
  - c) 速 報：新しい研究方法の開発、将来発展する価値のある新知見を早急に報告する論文。
  - d) 事例報告：稀な事例で今後の実践に有益な論文。
  - e) 総 説：会員に役立つもので、依頼した論文を原則とする。
  - f) 特 集：特定のテーマに関する複数の専門家に依頼した原稿を原則とする。
3. 原稿の作成：原稿は原則としてPCのワード等で作成し、書式はA4版横書き、原稿は一行あけて40×20行（800字）で作成する。

原稿の枚数は、原著14枚（刷り上り7頁）、研究報告14枚（刷り上り7頁）、速報は4枚（刷り上り2頁）、事例報告は8枚（刷り上り4頁）以内とする（図表、文献を含む）。

なお、印刷の刷り上り1頁は、800字原稿用紙2枚に相当する。図表は一枚あたり400字分に換算する。サイズは最大で、縦208mm×横141mmとする。

図表は本文とは別に原稿に添付し、それぞれ通し番号、タイトルをつける。図表の挿入希望箇所は本文の右欄外に明記する。
4. 論文構成と著者数：論文記述の順序は原則として次のようにする。

表題、所属、著者名（原著、研究報告は10名以内、速報は5名以内、事例報告は8名以内とし、英文を付記する）、抄録（和文）、索引用語（key words）、I 緒言（目的）、II 研究（実験）方法、III 成績（結果）、IV 考察、V 結語、文献、英文抄録、図、表（図・表にはそれぞれ番号とタイトルを付け、本文の欄外にその挿入箇所を明記する）の順序とする。
5. 抄録：和文抄録は、速報を除いて500字以内、key wordsは5語以内にまとめる。

英文抄録は、速報を除いて250語以内、key wordsは5語以内とする（英文抄録には表題、著者らの所属名、抄録、キーワードの英訳を含む）。
6. 用字、用語：原則として常用漢字とひらがなを使用する。学術用語は日本産婦人科学会編「産科婦人科用語集、第4版」および日本医学会編「医学用語辞典」に従うものとする。
7. 単位・記号：単位は国際単位系を使用し、m, cm, ml, dl, kg, g,  $\mu$ g,  $^{\circ}$ C, mEQ/L, mg/dl, などとする。数字は算用数字（1, 2, 3）を用いる。
8. 文献の引用：論文に直接関係の関係があるものにとどめ、本文中では引用部位の右肩に文献番号<sup>1)</sup>・<sup>2)</sup>・・・を付け、本文の最後に一括して引用番号順に掲載する。

（雑誌の場合）

著者名（和文はフルネームで、欧文は性のみをフルスペル、その他はイニシャルのみで3名まで記し、それ以上の場合「、他」「, et al」を用いて略記する）。表題（フルタイトルを記載）、雑誌名、発行年（西暦）、巻数（号数）、頁一頁。

例 1) 佐藤太郎, 青木二郎, 山田三郎, 他. 思春期の月経異常. 母性衛生. 2003, 44(1), 1-10.  
2) Johnson H, Smith EC, Wilson P, et al. Premature labor and infant mortality. Am J Obstet

Gynecol. 2002, 159, 65-68

(単行本の場合)

編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年 (西暦).

例 1) 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 1999.

2) William J. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2002.

(単行本の一部を引用した場合)

著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行地, 発行所, 発行年 (西暦), 頁-頁.

例 1) 松本五郎. 受胎告知. 松本一郎編. 受胎調節の実際. 東京, 第一出版, 1999, 1-10.

2) William J. Family structure. Conn ed. Family structure and function. Philadelphia, Saunders, 2002.1-10.

9. 印刷の初校：著者が行う。ただし、組版面積に影響を与えるような改変や組み換えは認めない。
10. 論文の掲載料：規定内に要する費用は無料とする。なお、カラー印刷は有料とする。
11. 投稿論文の採否、掲載の順序：査読者の意見を参考にして編集会議で決定する。掲載の順序は原則として投稿順による。採用した原稿等は原則として返却しない。
12. 論文の別刷：別刷は30部までは無料とし、それを越える場合は投稿者の負担とする。
13. 原稿の送付方法および送付先：論文はe-メールで送付とし、オリジナル原稿1部（写真はオリジナル原稿と同じものを使用）とサイン済みの著作権および利益相反申告書を郵送する。原稿には責任者の連絡先（メールアドレスも含む）を明記する。原稿の送付先は下記宛とする。
14. 本誌に掲載した論文の著作権はすべて静岡県母性衛生学会に帰属する。

〒420-8660 静岡県静岡市葵区漆山860

静岡県立こども病院周産期センター

address: nishiguchi-t@sch.pref.shizuoka.jp

## 投稿論文チェックリスト

表題： \_\_\_\_\_

筆頭著者名： \_\_\_\_\_

1. 下記の項目について確認のうえ、チェックを入れて下さい。

- 原稿は、A4判用紙（1ページあたり30字×30行）に、12ポイントで作成したか
- 表紙・要旨（和文）・テキスト（緒言・方法・成績・考察・結語）文献、抄録（英文）、図表の脚注、図表になっているか。
- 本文に通しページ（原稿下部の中央）を入れたか。
- 本文および要旨の字数はあっているか。
- 図表は白黒あるいはグレースケールで作成したか。
- 図表の解説文は添付したか。
- 図表の挿入箇所は、原稿の欄外に記入したか。
- 文献の記載方法は適切であるか（文献番号は本文に引用した順序で、1）から記載）。
- キーワードをつけてあるか。（5個以内）
- 表紙には、表題、著者名、所属機関名、連絡先を記載したか。  
連絡先には、筆頭者名、郵便番号、住所、所属、電話番号、ファックス番号、E-Mailアドレスが記載されているか。  
表題、著者、所属機関名を英文で併記したか。
- 研究における倫理的配慮について記載したか。  
臨床研究や知見に関する論文は倫理委員会・臨床受託研究審査委員会の承認を得た研究であることを表記したか。
- 本文、図表に、個人が特定される情報が含まれていないか。
- 統計処理法は明記されているか。
- 研究遂行や論文作成に関わる助成や経済的支援等があれば、その旨記載したか。

2. 投稿直前のチェック（下記の項目について確認して下さい。）

- 投稿論文の「表紙」の内容は投稿規定のとおりになっているか。
- 本文にはページを入れたか、本文、図表の枚数等を確認したか、欠落はないか、原稿の欄外に挿入希望位置を記入したか。
- 原稿は、正1部、副2部あるか。
- 「静岡県母性衛生学会誌の著作権に関する届出書」を添付したか。
- 「静岡県母性衛生学会誌投稿者の利益相反に関する自己申告書」を添付したか。
- 電子媒体（CD-R）は最終校正の段階で郵送してください。（返却しません）  
使用OS名（Windows XP、Vista、Windows7, Mac）を記載したか。  
仕様ソフトウェア名（MS: Windows2002あるいは2007）を記載したか。

## 静岡県母性衛生学会誌の著作権に関する届出書

静岡県母性衛生学会会長 殿

雑誌名 静岡県母性衛生学会誌

著作物名  
\_\_\_\_\_  
(論文名)

著者名  
\_\_\_\_\_  
(共同著者も含む)

1. 上記著作物が当該定期刊行物に記載された場合の転載、翻訳、翻案、複製、譲渡及び公衆送信権（自動公衆送信の場合にあっては、送信可能化を含む）の権利を静岡県母性衛生学会に譲渡します。
2. これらの諸権利の第三者への許諾は、学会によって行うことを了承します。

平成 年 月 日

筆頭著者名（自著）

## 静岡県母性衛生学会誌投稿者の利益相反自己申告書

著作物（論文名） \_\_\_\_\_

著者名（共著者も含む） \_\_\_\_\_

平成 年 月 日 投稿者氏名（自署） \_\_\_\_\_

	金額	該当の状況	該当の有る場合、企業名等
役員・顧問職	100 万円以上	有り・無し	
株	利益 100 万円以上/全 株式 5%以上	有り・無し	
特許使用料	100 万円以上	有り・無し	
講演料など	50 万円以上	有り・無し	
原稿料など	50 万円以上	有り・無し	
研究費	200 万円以上	有り・無し	
その他報酬	5 万円以上	有り・無し	